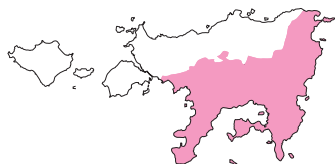


議会 だより



小豆島町

No. 24

平成24年5月1日発行



可能性は無限大

春の高校野球香川県大会で小豆島高校野球部、初優勝！

- 審議議案
平成24年度予算について…………… 2
- 一般質問
10名の議員が質問…………… 4
- 小学生議会開催…………… 9
- 住民の声・まちの力…………… 10

24年度当初予算

合併後、最大規模となる

81億1,000万円 を計上

小豆島の元気のために、未来にむけての島づくり



5,743万円

医療と 福祉の 充実

- 〈主な事業内容〉
- ・ヘルスケアシステム（テレビ電話による健康相談）導入
 - ・配食サービスを週1回から2回へ
 - ・軽度な家事支援（ゴミだし、買い物など）サービスの新設
 - ・短時間デイサービスの実施
 - ・オリーブを家庭料理・学校給食に普及させる取り組みの実施
 - ・公立病院統合に向けた体制づくり（病院再編推進室の設置）

平成24年度予算については、町発足以来最大規模となる総額81億1,000万円の予算を編成し、3年目を迎えた塩田町政の「小豆島の元気のために、未来にむけての島づくり」に向けた積極的な取り組みの第一歩を示しました。



子育て 応援

8,201万円

- 〈主な事業内容〉
- ・妊婦歯科検診無料化
 - ・子供の一時預かり、送迎のサポート事業
 - ・第3子以降保育料免除
 - ・島外への障害児通学通院費用の助成
 - ・大学英資金貸付額の拡大
 - ・仲人の復活事業



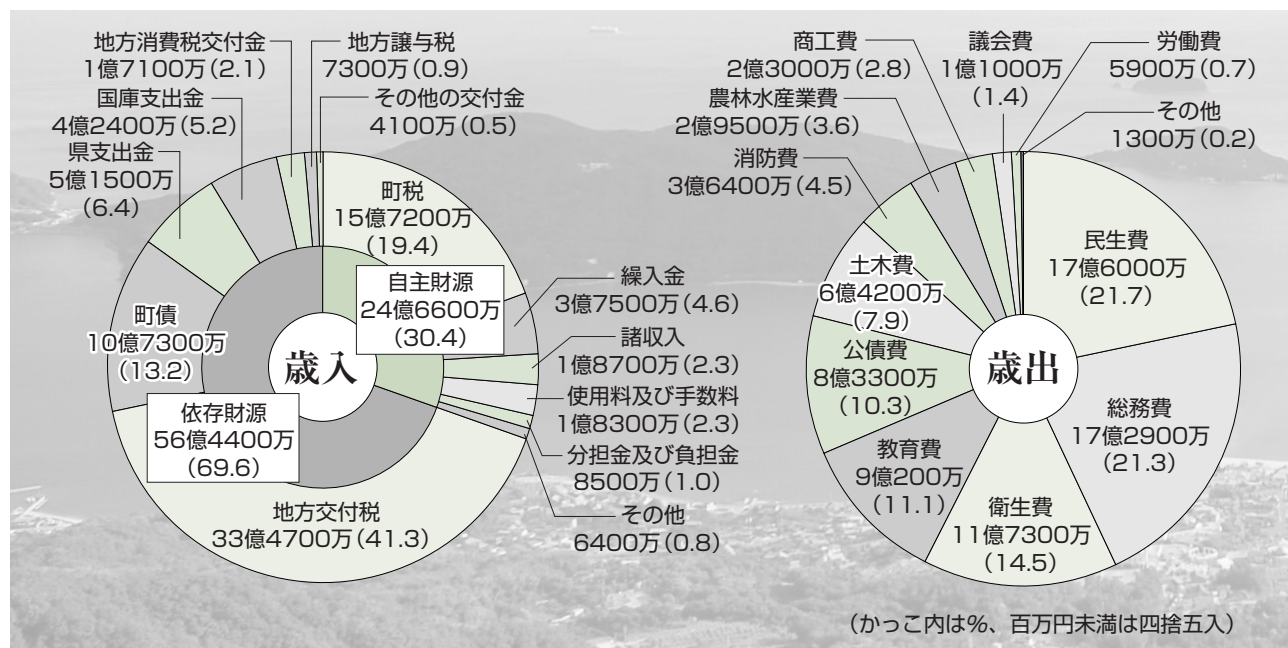
4,849万円

産業の 活性化

- 〈主な事業内容〉
- ・産業振興・環境技術会議
 - ・中山「棚田の村」（棚田公社）の推進
 - ・特色のある菊産地づくり
 - ・オリーブトップワンプロジェクト
 - ・ノリ養殖栄養塩添加技術の開発



3月定例会が、3月5日から23日までの19日間の会期で開かれ、平成24年度当初予算、23年度各会計補正予算、町奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定など35議案と議員提出の発議1件等36議案を審議し、それぞれ原案通り可決しました。一般質問では10名の議員が当面する行政課題をたえました。



〈学校教育課〉

学校給食へのオリーブオイル使用によって材料コストの上昇が予想されるが、給食内容の低下や保護者の負担増を招かないよう創意工夫に努められたい。

中学校における柔道の必修化については、安全性の確保に万全を期されたい。

11件の予算議案を総務建設、教育民生の常任委員会に付託して延べ4日間にわたって審議し、次のような意見をつけ、賛成多数で原案通り可決しました。

平成24年度予算・意見を付けて可決

- 7,129万円**
- 〈主な事業内容〉
- ・瀬戸内国際芸術祭2013 (小豆島全体を会場に)
 - ・木下恵介監督生誕100年プロジェクト (巨匠木下恵介展、城山にモニュメント)
 - ・小豆島神戸航路プロジェクト



賑わいづくり

4,178万円

- 〈主な事業内容〉
- ・生涯学習のまちづくり支援事業
 - ・演劇「二十四の瞳」の上演
 - ・太陽光発電など環境の島
 - ・移住交流の推進



新しい絆社会

条例の一部改正

小豆島町奨学資金貸付条例の一部改正

貸付する金額を増やし、さらに返還免除制度を拡大することで、貸付を受ける人の経済的負担を軽くし、Uターンを促すため、改正するものです。

補正予算

平成二十三年 度
一般会計 (第9号)

民生費	内海保育所修繕工事	30万9千円
衛生費	他	189万6千円
衛生費	病院事業会計負担金	7,866万8千円
商工費	二十四の瞳映画村	504万円
教育費	漁師の家改修補助金	504万円
教育費	橋スクールバス停	30万9千円
修繕		30万9千円

6億9,240万円

- 〈主な事業内容〉
- ・光ファイバー網の整備 (平成24年10月サービス利用開始見込)
 - ・坂手港フェリー乗場整備
 - ・天狗岩遊歩道整備
 - ・各種防災対策 (ハザードマップの整備等)



インフラ整備

一般質問

10名の議員が一般質問を行いました。

オリーブによる

健康長寿の島づくりは

町「島民自らがオリーブを使い、健康になるようにする」

健康になるようにする」

質問 オリーブによる健康長寿のプロジェク
トに主婦を入れるべき
だ。

小豆島産オリーブは
値段が高く、低い外国
産と言う事実は変わら
ず存在するが、オリー
ブ利用を徹底的に高
め、生活に定着させて
贈り物や観光客にアピ
ールするべきだ。

島内飲食店のオリー
ブ料理と推奨マークの
導入は地元業者や島
民の方の声を聞き、呼
びかけ、小豆島では、
販売している人も日ご
ろ使っていることが大
切である。町が飲食店
に対して補助するシス
テムも必要では。

島内飲食店のオリー
ブ料理と推奨マークの
導入は地元業者や島
民の方の声を聞き、呼
びかけ、小豆島では、
販売している人も日ご
ろ使っていることが大
切である。町が飲食店
に対して補助するシス
テムも必要では。

答弁 健康長寿のプロ
ジェクトに婦人団体の
代表者を提案に沿って
必要な方を入れてい
く。これからのオリー
ブを使った振興策を
図る上で、生産量の問
題と値段が高いことが
大きなハードルである。
生産過程、摘み取り、
加工段階で共同化でき
ないか問題意識も持っ
ている。小豆島オリー
ブの生産量を増やすこ
とが根本的に必要であ
る。

学校給食でオリーブ
オイルを全面的に使
い、小豆島産は量が少
なく価格も高いので外
国産を活用する。

島内飲食店のオリー
ブ料理や推奨マーク導
入は観光客用と島民自
らがオリーブを使うこ
とによって健康になっ
ていくことを考えて実
施していく。

島内飲食店のオリー
ブ料理と推奨マーク導
入は観光客用と島民自
らがオリーブを使うこ
とによって健康になっ
ていくことを考えて実
施していく。

島内飲食店のオリー
ブ料理と推奨マーク導
入は観光客用と島民自
らがオリーブを使うこ
とによって健康になっ
ていくことを考えて実
施していく。



日々の暮らしにもオリーブを



中江 正 議員

新内海ダム完成時に

災害経験を冊子に

町「ダム完成に合わせて、冊子を作りたい」

質問 信じられない映
像が今もテレビから流
れている。東日本大震
災から1年だが新内海
ダムの完成に合わせて、
過去の災害経験を住民
参加で冊子を作るべき
だ。

私自身も逃げまどい
妹も嫁いでいた竹生の
家の家族や親戚の人が
命を奪われた。昭和
49・51災害で68名の犠
牲者がでた。
山陽新聞には193
9年の昭和三陸津波の
経験を刻んでいた石碑
が東日本大震災の津波
で再度現れたようだ。
過去の経験が生きる
ことは証明されている。
経験は後世に伝え、
残すことは何より大切
だと思うが。

答弁 新内海ダムの完
成に合わせて49年災
害、51年災害の冊子を
作り、生の声を記録し
たいと思っている。



森 崇 議員

押しつけ教育が今も続いているのか

町「社会の基本的ルールを
きちんと教えている」

質問 今から26年前、
木庄地区にも「川飯」
があった。終了時に
「ゴザに座ると菓子
をあげる」で反応しな
かったので「ゴザに座
らないと菓子をあげな
い」と言うと一緒に反
応した。褒美と処罰の
違いは大きいと思う。
当時木庄でも遅刻し
た男の子がリボンをつ
けられたショックで朝
5時に学校の正門にい
た。

答弁 挨拶や返事など
社会的ルールは強制的
に教える。決して押し
つけでなく「しつけ」
である。教育改革のた
め、子どもの本来の能
力を伸ばすことが大
切である。
今日まで押しつけ教
育が続いていたのでは。
答弁 挨拶や返事など
社会的ルールは強制的
に教える。決して押し
つけでなく「しつけ」
である。教育改革のた
め、子どもの本来の能
力を伸ばすことが大
切である。



オリーブ油への切替の対応策は

町「ガイドラインを作成し、適切に対応したい」

質問 健康長寿の島づくりで、オリーブの活用・普及に本格的に取り組むには、島産のオリーブ製品の使用を考えているのか。島産製品は数量・価格に不可能と思うが、数量・価格への補助金等の対応策は。

答弁 島産オリーブには量的・価格の面から問題がある。またオイルは用途により活用方法があり、現実的に海外のオイル使用になる。今後ガイドラインを作成し適切に対応していく。



オリーブオイルの普及を

IT難民者への対応は

町「伝統的な広報媒体も大切にする」

質問 光ファイバー整備は、島の発展に十分期待できる事業である。しかし反面、何人の人が毎日パソコンをチェックしているのか。町民の多くはIT難民者であり、新事業の周知、情報提供等IT難民者への対応は。

答弁 小豆島の発展上、ITの普及は良いことである。しかし、町広報や自治会単位での紙媒体での伝達、朝の放送の充実等、伝統的な広報媒体も大切にしていきたい。



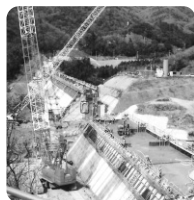
大川 新也 議員

「新内海ダム建設」への考え方は

町「裁判の中で正当性を主張していく」

質問 内海ダム建設で「住民の8割賛同に疑問」と室工大教授の論文が新聞に紹介されたが、論文はダム建設を全否定し町・旧町議会の批判ととれる内容だが町の考え方、対応は。

答弁 町民の多くが待ち望んでおり、記事について違和感を感じている。現在訴訟中であり、審理の中で正当性を主張していく。



工事の進む新内海ダム

映画「八日目の蟬」の今後について

町「島での再演は難しい。島の良さを守り続けることが大切」

質問 第35回日本アカデミー賞において10部門もの最優秀賞を受賞したのをきっかけに、この映画を更に全国の人に見てもらえないか。

答弁 日本アカデミー賞最優秀賞の受賞はこの映画製作に関係したスタッフへの名誉だけでなく小豆島自身が受賞したと評価できるので関係者へ感謝申し上げたい。

映画の再上映については、凱旋上映を東京、大阪、福岡、高松で行っていた。小豆島内での映画の再上映となると、著作権の問題等あり、かなり難しいと思うが、最近ではDVDも出ているし、東京等で再映のチャンスがあると思うので、そのよ

©2011年映画「八日目の蟬」制作委員会



アカデミー賞10冠の「八日目の蟬」



浜口 勇 議員

うな機会に見てほしい。

「八日目の蟬」で大事なことは小豆島がなぜ評価されたかということである。

日常的に神様を大事にし、共に暮らしていくという小豆島の素晴らしさに、物語の主人公の心がいやされて、心の平穏を得られたことをこの映画で描いたと成島監督は何度も話している。

島の風景、人情、そして神や仏とふれあう島の行事を守り続けていくことが、テレビなどで何度も放映されて、多くの人たちに見てもらえることにつながる大前提だと思う。

防災会議の委員に

女性を登用することについて

町「女性委員の登用を
増やす対応をしたい」

増やす対応をしたい」



柴田 初子 議員

質問 国の防災基本計画に「女性の参画、男女双方の視点」が取り入れられるよう明記されている。これを受け、公明党は昨年10月、既存の防災対策を見直すため全国の女性議員が防災行政総点検調査を18都府県640市区町村で実施した。

その結果、多くの自治体で女性の視点が欠落している実態が浮き彫りとなった。

小豆島町においても、防災会議女性委員は30人中婦人会会長1人である。女性の参画、男女双方の視点から防災対策の充実強化を進めるために積極的に女性委員を増やす考えは。

答弁 防災対策に女性の視点を反映させることの必要性について、中央防災会議の専門委員会でも指摘されている。小豆島町においても、今回の防災会議に間に合うように、次年度早速女性の委員を増やす対応をしたい。

人数については定員が35名で現在30名が任命されていて、あと5

名の枠があるので、提案のあった保健師とか、看護師など専門的な人も含めて検討する。自主防災組織の活動については地区によってかなりの違いがある。行政として今後各各地区の中に入っていく、大変積極的に進めている所を紹介しながら自主防災の話を進めて行きたい。



女性視点の防災計画の策定を

招へい作家の

作品展示に対する取り組みは

町「専用スペースを確保し
展示に努めていく」

展示に努めていく」



森口 久士 議員

質問 2月23日に、神浦地区旧出水邸で2010年の芸術家村招へい作家、赤坂有芽さんの作品展があった。



盛況だったアートツアー

整備をする。

旧三都小学校校舎内でも常設展示する。夢想館など、公共施設も定期的な作品展示ができるよう検討する。

来年の瀬戸芸は、三都半島の芸術家村のプロジェクトを瀬戸芸の

一環として位置付け、作品展開がされることになっている。とりわけこれまでの関係では東京芸大の先生方との打ち合わせ、協議が重要になる。

さらに3年後の瀬戸芸も含め三都半島ならではの形にしたい。残された原風景を生かすことが基本的に大事と思っているので、原風景を守ると作品の展示をどうするか、長い視点で考えていく。



斬新なアートにふれる経験を

答弁 旧出水邸の母屋部分を赤坂さんの作品の専用展示スペースとし、管理と作品の公開は、地域にお願いする。今後すばらしい作品は、専用スペースを確保し、展示に努める。屋外にある作品も環境

武道必修化の延期を含め
安全の確保を

町「県警とも協力し、安全に全力を尽くす」

質問 来年度から中学校1・2年生は武道の柔道が必修になる。ところが、柔道は過去28年間で114人死亡、275人が重い障害を負う事故が続いてきた。直接頭を打たなく

ても脳が激しく揺さぶられて起きる「加速損傷」とよばれる症状が重大事故に多い。保護者はなぜ必修なのか、事故が心配の声がある中、必修化の延期を含め、安全確保の仕組み

「池田中学校の統合を急ぐべき」は
池田住民の意思に背く

町「生徒が切磋琢磨できる環境を整備すべき」

質問 池田中学校の統合は「強引に進めない」としてきたが、「統合を急ぐべき」と表明。池田地域は連携教育によることもセンター・小中学校の合同運動会が子ども達の成長を促す教育となっており、地域の活力だ。池中は県下にひけをとらない学力向上の実績、陸上部の活躍は生徒達の大きな自信と成長になっ

ている。「統合を急ぐべき」との考えを改めるべき。

答弁 できるだけ早く統合し、切磋琢磨できる環境をつくることだ。



住民の意思を示す立看板



村上 久美 議員

を構築することを最優先に取り組むべき。

答弁 外部コーチとして香川県警に協力を依頼。安全に全力を尽くす。

不公正な同和行政は
終結すべき

町「同和対策は必要」

質問 同和施策は法が失効後も事業の名称を変えて今なお継続。不公正な同和施策は県包括外部監査の再検討の指摘に沿ってきつぱりやめ、医療や福祉の充実に充てるべき。

答弁 同和に対する対策は必要である。

職員の意識を変える
やる気をどのようにして出させるか

町「すべて実現できる課題。部制を生かし連携と意識改革に努める」

質問 「島の魅力を生かした小豆島の新しい物語をつくっていきたい」との町長の強い思いの詰まった24年度の積極的予算案。病院の統合問題をはじめ、光ファイバー網の整備等々、今までにない大胆な予算づけをしている。これらを実現しようとするれば、役場の職員全員が意識を新たに持ち、新しい島づくり、まちづくりに一丸となつて取り組む姿勢が必要であるが、考えは。

である。今回の組織改革も、その一端、第一歩である。

これまでの殻を破り、今回の部制を生かし、連携と意識改革に努める。



新聞折込で配布されたチラシ

積極的予算を実現するには
本庁舎は絶対に必要と思うが

町「特例債を生かし、新庁舎建設の決断をしたい」

質問 常顔を合わせ意見交換や連携体制を取れるよう、特例債を生かして新庁舎建設の決断をしたい。

見交換や連携体制を取れるよう、特例債を生かして新庁舎建設の決断をしたい。

答弁 所信表明でも言ったが、どの一つをとってもできない課題はなく、全部必ず実現できるテーマだと思っている。私だけでなく職員、議員、住民の皆様との協力とご尽力が必要

答弁 庁舎は首長が陣頭指揮をとり、災害に対応できる庁舎や、意



植松勝太郎 議員



介護保険料の引き上げはやめよ

町「上昇幅は緩和させている」

質問 年金生活者の暮らしが破壊になる介護保険料の大幅引き上げはやめ、国に負担増を求めるべきだ。

答弁 基金取り崩しなど、保険料の上昇を緩和、基準月額4,560円は県平均5,200円より低い。国庫負担引き上げは要望したい。



鍋谷真由美 議員

病院統合で地域医療は守れるのか

町「県の医療関係者からの意見は一致している」

質問 社会福祉協議会が地域福祉の担い手になるために、人員の確保から体制を抜本的に

見直すことが前提であり、今の延長線上ではなく、ゼロから検討する。

配食サービスの改善を

町「抜本的に見直す」

質問 社会福祉協議会の機能拡大を段階的に図るとは、具体的にどのようなことか。また、配食サービスを週2回に増やす計画だが、現在週1回でも、民生委員などのボランティアに大きな負担がかかっ

質問 町民への影響が大変大きい内海病院の統合を、場所も明らかにせず説明が不十分なままトップダウンで拙速に進めているのは問題だ。

質問 町民への影響が大変大きい内海病院の統合を、場所も明らかにせず説明が不十分なままトップダウンで拙速に進めているのは問題だ。



地域医療を守ろう

避難場所の耐震性は

町「まだ確認できていないところもあり今後計画的に実施する」

質問 小豆島町内の各自治会単位で避難場所を指定しているが、その施設の耐震検査等を行っているのか。

自治会の施設や町の施設等色々あるが、建築年数や収容人数等は把握しているのか。

イマージュセンター、武道場、旧三都小学校の校舎や体育館、旧福田小学校の体育館の強度の現状は。

自治会館などの町所有以外の施設は、収容人数は把握しているが、建築年数は把握していない。確認の上、耐震診断等について今後の取り組み方を自治会等と協議していく。

イマージュセンター等の施設は昭和57年以



藤本 傳夫 議員

降の建物なので、建築基準の上での強度は満たしていると言える。公共施設については、色々なことで使っていることでも考えられるので、その耐震については今後十分確認していく。



公共施設の耐震性は大丈夫か

答弁 現在、本町の施設で耐震診断が終了し、耐震改修を実施している施設は、学校等の教育施設と公営住宅等だけである。公民館などそれ以外の施設においては、耐震診断が必要な施設がいくつかあるので、今後計画的に実施していく。また、

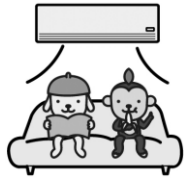


小豆島町 小学生議会

池田小学校の児童が
まちの議員に

1月27日、池田小学校の児童10人が「議員」となり、町政の課題や学校生活を通じて感じた事柄などを質問する「小学生議会」が開催され、子どもならではの鋭い視点からの質問がありました。
(質問は一部抜粋)

答弁 エアコンについては今年の夏には整備をします。エレベーターについては、他の施設につけてから計画的に整備したいと考えています。



あやな
藤原亜耶奈 議員

足をけがしたりした人のためにも、小学校にエレベーターをつけてほしいです。



ななみ
木村 七海 議員

暑い日寒い日にも勉強に集中できるように、教室にクーラーをつけてほしいです。

答弁 地域に住む人々の力を活用することで、お年寄りが暮らしやすい町を作っていくと考えています。新たなイベントを作るのは難しいですが、皆さんの住んでいるところからお年寄りといふれあう機会を作ってみてはどうでしょうか。



お年寄りとも一緒に楽しめるイベントを計画してほしいです。



山本みなみ 議員

お年寄りのことを考えた取り組みを教えてください。



たくと
坂田 拓人 議員

答弁 今年度中には整備される予定ですが、小豆島に光ファイバーケーブルが入る予定はありませんか。



ゆいな
大西 結菜 議員

答弁 元気なお年寄りの方々でチームを作り、車を計画的に配車し、ドアツードアで行きたいところに行けるように行けるようにしたい。



お年寄りの方も利用しやすい交通手段の整備は考えていますか。



しげふみ
久保 茂史 議員

答弁 図書館を建てる予定はありませんが、インターネットを使って町立図書館にある本を検索し、予約できるようなシステムを作りたいと考えています。児童保育については4年生以上の児童でも利用できますので、一度相談してみてください。

4年生から6年生でも放課後過ごせるような施設があればいいと思うのですが。



ゆずは
岡田 柚華 議員

池田地区に町立図書館を建ててほしいです。



さほ
岡田 紗宝 議員

答弁 もっと大きな地震が来た場合の新しいマップを作りたいと考えています。財政については無駄を減らす努力はしつつ、やるべきことにお金を使っていきたいと考えています。



まき
藤田 真由 議員

津波のハザードマップはできていますか。あと、小豆島町の財政状況が大変であるなら無駄を減らす工夫が必要なのは。



あい
中西 愛 議員

答弁 できるだけ早い時期に統合を考えています。

中学校の統合問題の見通しは怎么样了ののですか。

住民の声

Vol.24



室生は、元気がいいですね！

八木 英機

(室生自治会会長)

ある地区の方に「室生には、ふるさと村があり、元気があっていいですね」と言われた。



錯誤を重ねながら模索することが必要です。

今は、法律中心の世です。私たちの小さいときには「エンマさま」と「おてんとさま」がいました。昔いた「エンマさま」と「おてんとさま」を呼び戻し、さらに、子どもたちには、「エンマさま」と「おてんとさま」がいることを教えたものです。

過去を振り返れば、葉たばこ、青りんご、かんきつ、すもも、菊等々、その時代に合った「ものづくり」で室生の繁栄を支えてきました。



まちの力 安田子ども剣道



いよいよわが国固有の文化である武道が、本年度より中学校では必修となります。

武道の精神が今の日本に必要と再確認された現在、安田子ども剣道は、永きにわたり「礼儀正しい子」「苦しさに耐え頑張りぬく子」「意志が強く、集中力のある子」の育成を目指してきました。

一番に基本を大切に、地道な練習を重ね、そして次に楽しく。中学、高校へと豆剣士たちが大きく飛躍することを目標としています。

現在、男子7名、女子5名の団員は、毎週木曜、日曜日、安田小学校体育館にて練習に励んでいます。

厳しい暑さ、寒さに身も引き締まり、すき

ま風も心地よい…レトロな安田小学校体育館に響く、日本男子、大和なでしこの元気な声、凛々しい姿。ちょっと覗いて、古き良き時代にタイムスリップしてみませんか？



編集後記

島の2つの公立病院の統合が進んでいます。島は全国的に見ても高齢化率が非常に高く、医師、看護師不足も深刻な状態です。島民の心配事が現実化する中、島の将来を深く考える事で希望が生まれます。国や県の全面的な協力を得て進めている病院再編に期待を持っています。

島民の皆様のご協力、ご理解こそ大切であり、私たち議員は今まで以上に率直な声を聞いて命と健康を守っていく決意を固めています。学校問題もご意見いただきたいと思います。工事が進んでいる新内海ダムは来年には完成します。「災害のない水の豊かな小豆島・観光小豆島」を考えるとすべて私たちの問題だと思っています。昨年3月11日の東日本大震災の犠牲は計り知れず、避難訓練や電力問題が今、議論され、意識が高まっています。

本紙に対するお問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL (0879) 75-1100 FAX (0879) 75-0108